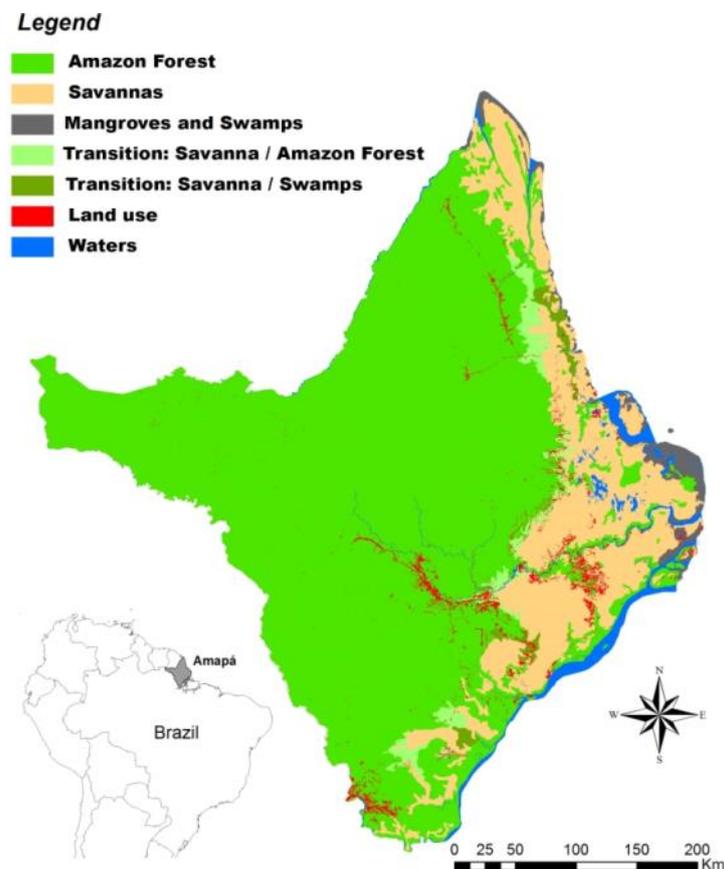


ブラジル
アマパ・イニシアティブ
現地からのお便り

2014年11月14日
コンサベーション・インターナショナル

アマパ州の紹介

ブラジル・アマパ州は、アマゾン川の河口の北部、赤道直下に位置しています。州面積の約7割が法律によって保全対象地に指定され、原生的な植生がほとんどそのまま残っています。豊かな生物多様性を誇る、ブラジルでもっとも自然が保全されている州です。



図：アマパ州の地図。赤い部分が過去に森林が破壊された場所。

プロジェクトの概要

自然は、木材、果物、そして水などの様々な恵みを人々に提供し、人々の生活を支えています。アマパ州に暮らす人々がこれからも自然の恵みを楽しみ、生きていくためには、自然の恵みの持続可能な利用を積極的に推し進める必要があります。

プロジェクトの活動は、大きく分けて二つです。1) アマパ国立公園（41万ヘクタール）とアマパ州有林（230万ヘクタール）の周りに暮らすコミュニティによる森林管理とアグロフォレストリープログラムを支援し、そして2) アマパ州全体で保全地域の管理プログラムにコミュニティが参加するのを推進するためのコミュニケーション・ネットワークづくりを行います。



活動始動！

プロジェクトの成果からより大きなインパクトを生み出すには、現地政府の政策と連携し、政府から長期的に協力を得ることが重要です。プロジェクトを始めるに当たって、私たちは保全地域を管理する政府担当者と何度も打ち合わせを行いました。コミュニティによる森林管理とアグロフォレストリーの取組について、国立公園および州有林における様々な用途を持つ森林管理活動の強化、原生のアサイの持続可能な管理、木材およびアサイ、ハチミツなどの非木材産物の加工やマーケティングへの支援について、ニーズが寄せられました。また、コミュニケーション・ネットワークづくりについて、若者の参加の推進、関係者間のコミュニケーションを改善するための方法、保全地域がもたらす恵みの伝え方の改善などが必要であるとの意見が出されました。

今後は来年の初旬に向けて、作業計画を作り、関係者の役割を決めていく予定です。



政府と一緒に進めていくプロジェクトであるため、政府機関とのパートナーシップが大切です。今期中、ブラジルの選挙があり、調整に苦労しましたが、プロジェクトを進めていくために重要な森林、環境、生物多様性、農業を専門とする機関とパートナーシップを構築することができました。今後、大学などとも連携体制を作っていく予定です。



※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。